

令和元年度 第3回 小野申人といきいきトーク

と き	令和元年2月13日（木） 19時～20時30分
ところ	府中市役所
テーマ	これからの府中市の子育て支援について
出席者	和光園保育所・国府保育所保護者8名 市長、唐川健康福祉部長、荻野教育部長、 山田女性こども課長、門田学校教育課長

今、府中市でも子育て・教育の点については、重点施策の一つとして挙げさせていただき、進めているわけだが、そうした中、まさに子育てをしている皆さんの意見を聞きながら、今後の府中市政にも取り組んでいきたいと思っている。

市

《保育》

- ・ 国より6か月早く、府中市で保育料を無料していただき、ありがたい。金銭面でのサポートは実感できている。
- ・ 病後保育を府中市民病院でしてもらっているが、当日の朝急に体調を崩したりしたときに、手続きが面倒くさい。また、インターネットで申請を出来るようにしてほしい。空き情報を確認出来るサービスなどがあれば預けやすくなる。

以前とは事前申請の仕組みが変わり、当日の空き状況にもよるが当日の10時頃までに手続きをしていただければ対応できるようになっている。親として、お子さんを看病したい気持ちもあると思うが、仕事へも行かないといけないという部分をフォローする就業支援の仕組みになっている。

もしもの時のために事前登録をしておいてほしい。事前に登録をしていない人でも当日登録することはできる。また、定員がいっぱいでお断りするような状況ではないので、いつでも利用が出来る状態になっている。

女
課

《学童》

- ・ 栗生小学校で土曜日の学童がなく、府中学園で一括となっている。自分の通っている学校以外だと行きたがらないため、仕事を休んで家にいなければならない。

土曜の利用については、昨年度各児童クラブに希望を聞き、集計させてもらった中で検討をした。現在は府中学園のみとなっているが、対応する支援員は、府中学園のみの支援員ではなく、各学校の支援員がローテーションを組んで対応している。

今まで土曜日は隔週だったが、今年度から毎週土曜の体制となった。支援員の確保のこともあり、各クラブで対応は難しい状態となっている。希望が多くなれば再度検討し、対応させて頂く。土曜日利用については今年度もアンケートを取らせてもらっている。

女
課

《学校・コミュニティ・スクール》

- ・ 保育所から小学校へ上がる情報をキャッチできていない。幼保小の連携で先生同士につながりがあるのなら、その情報を親へも共有して欲しい。例えば学童の仕組みや手続きなどが知りたい。ホームページ等を使って情報提供をしてほしい。
- ・ 地域の方と幼保小の連携を活用し、保育所から小学校へ上がるときに、すでに小学校へ通っている子どもがいる保護者にコミュニティ・スクールを通じて聞ける繋がりを作れないか。
- ・ 昨年の地震の時の大阪でブロック塀が倒れてきた事件があった。通学路の危ない箇所を周知してほしい。

平成26年から通学路安全プログラムを実施しており、各地域・町内会の方々・警察・建築関係者が共同で通学路の危険な箇所を現場に行き確認し、その場所の改善案を計画している。危険箇所についてはホームページに公表しており、改善前からこのように改善した、あるいは改善していくという事を掲載している。

学
課

- ・ 小学校の登下校の見守り隊が人手不足となっている。自分で迎えに行きたいと思うが、小さい子を連れて迎えに行くのはしんどいし、子どもを寝かしつける時間と小学生の帰宅する時間が被り、迎えに行けないことがよくある。地域の方に頼りっきりになっているイメージがある。学校の先生にも出てきてほしいと思う。

地域によっては組織的に見守り隊をやっているところがある。各学校にコミュニティ・スクールを導入し、学校・地域を含めて協議をしていくことが出来るのでご意見として挙げて頂ければと思う。

教
部

- ・ 福山市が今年の夏休みを7月まで学校に行き、8月いっぱいまで休みにすることにより、平日の授業時間を5時間授業にすると発表した。府中市も検討しているのか。

府中市の状況は今年試行的に夏休みを7月21日から8月23日の約1か月にすることを考えている。今年度までは、登校日を設けて午前中の授業をするなどしてきたが、授業日として給食が提供できるよう進めていきたい。この試行が児童生徒や・御家庭にとってもよりよいものであれば制度化していきたい。

教
部

- ・ 現在保育所に通っている子どもたちの中に発達障害の子どもがいた場合、どのように対応しているのか。また、小学校の体制は。

小児科で出してもらった診断書を持って保育所へ来ていただければ、加配保育士がサポートとして付く。子ども二人に対して一人加配保育士が付く体制となっている。状況にもよるが、加配保育士がなかなか見つからない状態の時もある。しかし、サポートが必要な子どもがいる場合は、配慮して付けるように取り組んでいる。

女
課

現在の特別支援教育は、障害の状況に応じて、特別支援学校に通われるケース、府中市内の学校の特別支援学級に在籍するケース、また普通学級に在籍して通級指導を受けるといった指導が行われている。府中市は平成29年から通級指導教室を小学校で始め、現在4クラスで対応している。保育所からの引き継ぎでいち早く聞き取りを行い、支援していくことで切れ目のない体制ができる。保護者にとって心配になる部分なのでそれに応えられるようになっている。小学校で通級指導を経験した子供たちに効果が出ているので、中学校にも広げ、小学校から中学校へ繋げられるよう体制を整えていく。

学
課

《医療》

- ・ インフルエンザの予防接種を我が子が心配で受けさせるが、接種するタイミングや受ける・受けないは個人の自由のため受けない子がいる。子どもだけでも、もっと医療の助成を受けられる体制にして欲しい。

インフルエンザの予防接種は、1歳から小学校6年生までが、助成の対象となっており2回の接種に対し、1回につき1,080円の助成をしている。助成分を引いた額を接種時に個人負担していただいている。

市

- ・ 府中市民病院の中に産婦人科があればと思う。

《府中市》

- ・ 今ある夏祭りやこれから色々と新しい事をやろうとしているというのが伝わってくるが、府中市外に住んでいる人がそのイベント等に来たいかということそうではない。インパクトが弱い。特色があるイベントを開催してみてもいい。
- ・ 年々人口が減っていることがとても寂しい。府中市としていろいろ取り組んでいるにも関わらず、それが伝わっていない。上手に発信が出来れば人を呼び込むことも可能な観光資源もある。改善をしても、発信が出来ておらず、上手く活用できていない。

貴重なご意見を頂き、ありがたく思う。最後に上下町の三玉病院の跡地に幅広い年齢が集まれる居場所づくりを考えている。完成後にはきちんと情報発信を行い、皆さんに活用して頂けるよう取り組んでいきたい。

今日に限らず何かあれば、園長先生を通してでも、直接女性子ども課に言ってもらっても結構なので、またご意見を聞かせてもらいたい。

市